

県内プロスポーツチーム連携人権啓発活動 人権大使プロフィール

現在 5 名の人権大使の皆様にご活躍いただいています。

【信濃グランセローズ】

山田 夢大（やまだ ゆうだい）選手 / 長野県伊那市出身

2024 シーズン 16 試合に登板。
8 勝 2 敗 防御率 3.18 チームの日本一に貢献した。目指すは NPB 入り。
入団 2 年目となる 2025 シーズンは、日本一連覇に向けて更なる活躍が期待される。



【松本山雅 F C】

山本 大貴（やまもと ひろき）グッズ担当/熊本県宇土市出身

2014 年にプロデビュー後、松本山雅 FC へ期限付き移籍で加入。
7 ゴールの活躍を見せるなど、その年の J1 昇格に大きく貢献した。
2016 年には完全移籍で加入し、2019 年まで 4 シーズンプレーした。
その後ファジアーノ岡山、AC 長野パルセイロでプレーをし、2024 年 1 月 30 日に現役を引退した。
同年 2 月より (株)松本山雅に入社し、グッズ担当として日々奮闘中。



【A C 長野パルセイロ】

三田 尚希（さんだ なおき）選手 / 長野県木曽郡木曽町出身

上松中（上松町）→青森山田高校→法政大学→ラインメール青森
→FC 今治→ヴァンラーレ八戸→AC 長野パルセイロ
昨年引き続きキャプテンを任され在籍 6 シーズン目となる。
老若男女のサポーターから、ニックネームの『さんちゃん』と呼ばれる
クラブを代表する選手の 1 人。長野県出身選手としてチームを引っ張る。



【A C 長野パルセイロ・レディース】

川船 暁海（かわふね あきみ）選手 / 長野県長野市出身

AC 長野パルセイロ・シュベスター→AC 長野パルセイロ・レディース
育成組織出身の若きストライカー。
2024-2025 シーズンは、リーグ戦で自己最多の 7 ゴールを決めた。
持ち前の明るさから、誰からも愛される選手。



【信州ブレイブウォリアーズ】

**齋藤 崇人（さいとう たかと）ホームタウン活動推進担当
/ 新潟県新潟市出身**

2007 年に新潟アルビレックス BB にてプロデビューを果たし、
2011 年～2019 年まで、8 シーズンにわたり信州ブレイブウォリアーズで
プレーして現役を引退。現在はホームタウン活動推進担当として活動中。



【県人権大使】平成 25 年度より、連携事業の一環として各チームの代表の方を人権大使として任命しています。大使には、県が制作する人権啓発ポスターへの出演や、ホームゲームでの人権啓発活動、地域の街頭啓発活動などに御協力をいただいています。